

本荘ふるさと会20年の歩み

平成元年11月22日	第1回結成総会、懇親交流パーティー『ホテル高輪』 参加者340名
平成2年9月15日	会報第1号発行
11月23日	第2回総会、懇親交流パーティー『ホテル高輪』 参加者250名
平成3年7月26日～28日	ふるさと訪問ツアーア実施 (鳥海山・赤田の大仏・菖蒲カーニバルほか)参加者80名
11月24日	第3回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者240名
平成4年10月15日～16日	本庄市市制施行40周年協力事業募金活動開始 親睦バス旅行(小田原・箱根芦ノ湖ほか) 参加者28名
11月29日	第4回総会、懇親交流パーティー『ホテル高輪』 参加者200名
平成5年9月19日～20日	親睦バス旅行(松本城・信州博覧会ほか) 参加者20名
11月14日	第5回総会、設立5周年記念式典『目黒雅叙園』 参加者247名
由利本荘市へ200万円贈呈 (市制施行40周年記念協力事業として)	
平成6年7月29日～31日	ふるさと訪問ツアーア (本荘マリーナ・石脇三望苑・鳥海山) 参加者34名
11月2日	市民憲章碑除幕式(市制施行40周年記念協力事業募金200万円を活用して建立)
11月27日	第6回総会、懇親交流パーティー『ホテル高輪』 参加者176名
平成7年9月3日～4日	親睦バス旅行(軽井沢・竹久夢二記念館ほか) 参加者31名
11月12日	第7回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者193名
平成8年10月6日～7日	親睦バス旅行(富士山・山名湖・久保田一竹記念館ほか) 参加者23名
11月17日	第8回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者230名
平成9年10月5日	親睦バス旅行(伊豆方面)参加者28名
11月24日	第9回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者160名
平成10年9月27日～28日	創立10周年記念事業募金活動開始 親睦バス旅行(鋸山・マザー牧場ほか) 参加者26名
11月8日	第10回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者155名
秋田県立大学前道路へ桜50本贈呈 (創立10周年記念事業募金で贈呈)	
平成11年9月19日～20日	親睦バス旅行(尾瀬の旅) 参加者22名
10月1日	荒川七郎会長(当時) 本荘市特別功労賞受賞
11月28日	第11回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者150名
平成12年9月17日～18日	親睦バス旅行(蓼科高原・八ヶ岳中信高原国定公園ほか) 参加者29名
11月19日	第12回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者115名
平成13年9月9日～10日	親睦バス旅行(湯西川温泉) 参加者27名
11月18日	第13回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者133名
平成14年9月29日～30日	親睦バス旅行(箱根・強羅温泉ほか) 参加者15名
11月23日	第14回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者124名
平成15年8月30日	親睦ツアーア『隅田川屋形船周遊』 参加者56名
11月23日	第15回総会、懇親交流パーティー『目黒雅叙園』 参加者150名
平成16年8月6日	斎藤隆会長(当時)、莊司榮徳相談役 本荘市特別功労賞受賞
9月20日	親睦日帰り旅行『梨木温泉と草木ダム・美術館巡り』 参加者16名
11月23日	第16回総会、懇親交流パーティー『池袋メトロポリタン』 参加者127名
平成17年11月20日	第17回総会、懇親交流パーティー『池袋メトロポリタン』 参加者116名
平成18年9月9日	親睦旅行(奥日光湯元温泉・華厳の滝ほか) 参加者15名
11月19日	第18回総会、懇親交流パーティー 『八重洲富士屋ホテル』参加者125名
平成19年7月7日	納涼屋形船ツアーア(浦安方面) 参加者40名
9月6日～7日	親睦旅行(南房總白浜方面、鋸山・館山市立博物館ほか) 参加者16名
11月18日	第19回総会、懇親交流パーティー 『八重洲富士屋ホテル』参加者127名
平成20年7月12日	納涼屋形船ツアーア(浦安方面) 参加者35名

去る平成二十年六月二十九日（日）、アルカディア市ヶ谷において由利本荘ふるさと会連合会設立の集いが開催されました。あいにくの雨模様でしたが、午前十一時頃から、連合会を構成する各ふるさと会等八団体の会員が続々と集まりはじめ、開会时刻の十二時には、三階富士の間は、ご来賓も含め一三〇名近い参加者で埋め尽くされました。

設立趣意書が読み上げられました。以下に原文を紹介します。

由利本荘ふるさと会
連合会設立の集い



本荘ふるさと会 幹事長 安井 賢光

（平成十七年三月二十二日）
「平成の大合併」に伴い、由利・本荘地域は「由利本荘市」として一変しました。一方、首都圏にある「ふるさと会」の現状は、年々若年層の減少と高齢化が進み、明るい未来を描けないでいるのが実情です。
そこで、これから新市に受けていく者同士が、現実の変化を見据え、次世代へ引き継ぐふるさと会をどう展望すればよいのか。これを協議することは、歴史的大合併に居合



ませた者の責任であり、避け
ては通れない課題だと思います。
また、この大合併は（由利
本荘市）を新たなるふるさとと
する者同士が、親睦の輪を広
げる二度とないチャンスだと
考えます。そのためには、既
存のふるさと会に埋没し、偏
狭固陋に孤立していくは好機
を逸することになります。す
なわち、豊かな郷友関係を構
築し、新市との緊密な連携を
図っていくためには、そのパ
イプ役となる団体を組織する
必要があります。その際には、
広い視野に立って共同歩調を
とることが基本原則であり、
それは取りも直さず、財政事
情や歴史的・地理的条件、さ
らには文化的摩擦や違和感な
ど、諸々の条件を乗り越えて
大合併を果たした新市民に対



先ずは緩やかな連合体として大同につき、相互に刺激し合いながら和気藹々と交流していくことが、（由利本荘ふるさと会）を形成する最善の策であると思考します。

以上の観点に立って、（由利本荘ふるさと会連合会）を設立するものです。」



容認することとしております。
第一部の集いでは、この後連合会の会長に就任された、ふるさと鳥海の会の菊地昭夫氏の挨拶、柳田由利本荘市長のご挨拶で終了し、第二部の懇親会に移りました。

懇親会では、ご来賓のご挨拶の後、歓談・余興・カラオケなど和気藹々のうちに進行し、午後三時三十分閉会となりました。柳田市長も井島市議会議長も大変喜んでおられ第一回の連合会の集いは、大成功であったと思ひます。役員の皆様をはじめ、関係者の皆様のご尽力に改めて感謝と敬意を表します。今後、この連合会が益々発展することを祈念し、集いのご紹介とさせさせていただきます。

今年の秋田県は秋晴れの日が多く、全国の天気予報を見ていると、東京よりも暖かい日が一日や二日ではなかつたようになります。この秋晴れの中、由利本荘市内の田んぼ鍋も稻刈りが終わり、新米も販売されはじめています。また新米を使つた「きりたんぽ鍋」を提供している食堂も増えました。今は日本全国どくでも食べることが出来ますが、やつぱり秋田の比内地鶏や、セリ、ゴボウ、舞茸を入れたきりたんぽ鍋を、秋田で食べるのが一番美味しいと思います。皆さんも昔懐かしの味に舌鼓を打ちに秋田に遊びに来てください。

編集後記